

## 実施状況

9月6日(日)の日曜参観の日に公開授業を実施し、保護者など多数の参観がありました。

身の回りにあるジェンダーに気付かせるとともに、「男らしさ」「女らしさ」という概念は、社会構造の中で作られたものであることに気付かせ、女だから男だからではなく、一人の人間としてより良い生き方、正しい生き方ができるよう指導していきたいと考えました。

まず自分の中に少なからず存在している性差による固定化された役割意識について知り、友だちとの意見の相違に気づいたり性差による差別について知ったりするために、ランドセルや洋服の色について考えてみました。また、普段自分たちが感じていることを話し合う中で、男子は女子の気持ちを、女子は男子の気持ちを理解しあうことができ、既成の価値観や思い込みにとらわれずに自他の個性を多面的に見たり、考えたりすることができました。

## 児童・生徒の感想

- ・ 男・女じゃなく、個性を大切にしていくことが大事だと思いました。
- ・ 昔に比べて、今は男女の差別がなくなってきたことがわかりました。
- ・ ランドセルの色など、普段あまり意識していなかったけれど男らしいとか女らしいという気持ちで色を決めていたことが分かりました。
- ・ 男同士、女同士のグループで話し合ってみて、自分たちの気持ちを相手に知ってもらうことができたし、相手がどんな気持ちでいるのかがわかりました。

## 参観者の感想

- ・ 今回の授業を参観して、男女の役割や個性を大切にすることについて家庭で話し合うきっかけとなりました。
- ・ 男らしさ、女らしさにこだわらず、役割分担しそれぞれの良さを大切にしていくことが必要だと思いました。
- ・ 男女の差がなくなってきたことについて、これからもっとたくさんの事例を教えてほしいと思いました。

## 指導者の感想

全体での話し合いの中で、「それは個性だから」という言葉がたくさんでてきました。男だから、女だからという意識から、良い面はもちろん悪い面も含めてお互いの個性を大切にしようとする気持ちが授業を通して芽生えてきたように感じられます。

男女の人数差の大きい学級なので、意見の交流は難しいのではないかと思っていましたが、お互いに自分たちの考えを出し合い、そして相手の立場に立って考えることができました。

今後も、それぞれの良さや個性を認め合うことのできる学級経営をしていきたいと思います。

